

# 令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 商業・サービス産業支援課  
 担当名: 映像コンテンツ担当  
 内線: 3734

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
N42	映像関連産業振興費 (内部管理経費)			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	映像関連産業振興費		
事業期間	平成14年度～ 令和14年度	根拠 法令	なし				針路 分野施策	11 1101	稼げる力の向上 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsゴール 8 SDGsターゲット 8-3
1 事業概要	映像関連産業の導入・集積を図るため、彩の国ビジュアルプラザの効果的・効率的な管理運営を行う。 あわせて、本県における映像関連産業の振興を図るため、各種の施策を展開する。			5 事業説明						
	ア 彩の国ビジュアルプラザ管理運営費(内部) △21,000千円			(1) 事業内容						
	イ 彩の国ビジュアルプラザ県管理経費 △240千円			ア 彩の国ビジュアルプラザ管理運営費 (内部管理経費) 41,769千円 情報発信システム、デジタルアーカイブシステム等の機器賃貸借経費 イ 彩の国ビジュアルプラザ県管理経費 (顧問の報酬、費用弁償や電話代等) 3,262千円						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)				(2) 事業計画						
				ア 令和5年度 開設後20年を経過した彩の国ビジュアルプラザにおいて、賑わい創出と集客を意識した効果的・効率的な事業実施、映画祭や関係業界との連携等により映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。 イ 令和6年度～ 引き続き、効果的・効率的に事業を展開し、映像産業を担う人材の育成と映像関連産業の振興・集積を図る。						
3 地方財政措置の状況 なし				(3) 事業効果						
				映画祭のコンペティション部門に99を超える国と地域からの作品応募、育成したクリエイターが国内外の映画祭での受賞や作品の劇場公開などで活躍、年間2万人以上の子ども達が映像ミュージアムの映像学習を体験						
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円				(4) 補正予算の概要						
				ア 情報発信システムの契約差金による減額 イ 事務費の節減による執行残の減額						
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額	
決定額	△21,240							△21,240	23,791	
現計額	45,031							45,031		

## 事業内訳書

事業名	映像関連産業振興費（内部管理経費）		
単位事業名	彩の国ビジュアルプラザ管理運営費（内部管理経費）	予算額	△ 21,000千円

### ○歳入

（単位：千円）

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△21,000	—	
合計	△21,000	—	

### ○歳出

（単位：千円）

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び賃借料	△21,000	—	情報発信システムの契約差金による減額
合計	△21,000	—	

単位事業名	彩の国ビジュアルプラザ県管理経費	予算額	△ 240千円
-------	------------------	-----	---------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△240	—	
合計	△240	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△15	—	事務費の節減による執行残の減額
需用費	△61	—	事務費の節減による執行残の減額
役務費	△164	—	事務費の節減による執行残の減額
合計	△240	—	